

杉浦蕉亭 せきゅう 蕉膳所藩儒。文政六年近江國膳所生れ、明治二十一年十一月十八日歿（二八三一九）。諱重文、字斐章、通稱益太郎。別號梅溪。藩儒黒田深洲の他、奥野小山、梶村高朗等と交遊す。藩儒蕉膳義堂の史官、教授となり、また家塾を開いて子弟を教へた。杉浦植陰、杉浦重剛の父。

著書 『蕉膳所藩學校邊義堂之圖』（明治二十二年十一月十五日杉浦重剛刊）。